

平田篤胤と油長山崎家史料展

「越ヶ谷蔵物語」特別企画



本居宣長の肖像画掛け軸

山崎篤利による写本
著者である篤胤が自ら朱入れしている

国学者平田篤胤と豪商油長山崎長右衛門篤利
200年の絆が甦る。



「蔵」が守り続けた郷土の至宝。



伊勢神宮文庫(外宮)への献本受領書



平田篤胤の和歌短冊



文政元年296両借金証文

2020年11月21日^土~29日^日 [入場無料] 会場 越谷市市民活動支援センター
東武スカイツリーライン 越谷駅東口から徒歩1分 TEL.048-969-2750
公開時間:午前9時~午後5時

■記念講演会/11月28日(土)13:30~15:00 ■連続ミニ講座/11月23日(祝)・25日(水)・29日(日)13:30~15:00
いずれも活動室にて(各回定員30名/予約制) ※お申し込み方法と詳細は裏面をご覧ください。

[主催] NPO法人越谷市住まい・まちづくりセンター、NPO法人越谷市郷土研究会

[後援] 越谷市、越谷市教育委員会、ボラスグループ株式会社中央住宅、越谷商工会議所、越谷市住まい・まちづくり協議会

[協力] 越谷市市民活動支援センター [史料提供] 油長山崎家

[企画監修] 油長史料研究同好会(油長内蔵運営協議会・蔵物語プロジェクトチーム)

お問い合わせ 090-4619-8722 (平田篤胤と油長山崎家史料展実行委員会 委員長 若色欣爾) <http://www.machi-kura.com>



油長伝承史料の発掘と新発見の経緯／史料展開催の趣旨

油長内蔵運営協議会では、空き家・空き地の活用を通して地域の活性化と賑わいの創出を図っています。旧日光街道越ヶ谷宿地区には蔵や古民家がまだ多く残っており、これらを再生・利活用するにあたって、長らく保管されていた品々の調査を進めることになりました。この活動は、蔵や所有家の歴史・生業など地域文化の発掘につながることから、これらを広く市民に発表する「越ヶ谷蔵物語」プロジェクト事業を実施しています。

第一回として、2019年の4～5月に山崎家の油長内蔵を取り上げ、展示を行いました。その後も調査を続けてきた結果、このほど国学者平田篤胤から贈られた本居宣長の肖像画の掛け軸をはじめ、和歌の短冊、書簡、金銭の借用証文、菓子器など100点を超える史料が見つかりました。想像以上に保存状態の良い品も多く、丁寧に読み解くうちに、約200年前の篤胤と山崎長右衛門篤利との深い絆がより鮮明に見えてきました。



調査の様子

この度、山崎家のご厚意により一般公開が実現しました。これを機に、改めて越谷市における郷土史の重要性とともに、地域への愛着と誇りを育んでいただきたいと考えております。

また今回の展示品は越谷の郷土史にとっても貴重な史料ですが、現在、本市においてはこうした文化財・郷土史料を保存し調査研究する機関がありません。まだまだ市内の旧家には多くの古文書や史料が眠っており、その所有者が安心して寄贈できる仕組みづくりの契機になることを願っております。

「平田篤胤と油長山崎家史料展」実行委員会 委員長 若色 欣爾

平田 篤胤(ひらた あつたね)

安永5年(1776年10月)～天保14年(1843年11月) 江戸時代後期の国学者・神道家・思想家・医者。出羽国久保田藩(現在の秋田県秋田市)出身。成人後、備中松山藩主の兵学者平田篤穂の養子となる。復古神道(古道学)の大成者であり、荷田春満、賀茂真淵、本居宣長とともに国学四大人の中の一人として位置付けられている。

篤胤と越谷市・山崎家との関わり

文化9年(1812年)、篤胤37歳のとき相思相愛で結ばれた妻・織瀬を亡くしました。篤胤は、本居宣長の著書に出会い国学に没頭し始めた時期で、学問に打ち込み書物の出版もしたいという状況のなか、下層武士の台所事情は厳しく、幼な子3人、病弱な子も抱え四苦八苦の毎日でした。

文化13年(1816年)、越ヶ谷の油長・山崎長右衛門美利(よしとし)は、その篤胤に入門します。しかも、乞うて「篤」の一字拝領を受けて「篤利」と改名するほどの熱心な門人でした。

そして文政元年(1818年)、長右衛門篤利は、織瀬の後添いの世話をして篤胤一家を支え、さらに篤胤の主書中の主書ともいえる『古史成文』『古史徵』等著書の出版費用を用立てました。山崎長右衛門篤利は、単に門人であつただけでなく、生活と平田塾経営の支援をして、平田篤胤をして平田篤胤たらしめた功労者であったといえます。

この平田篤胤と油長・山崎長右衛門篤利の関わりを示す史料は、かつてこの二人の関係の研究者である渡辺金造等によって紹介されていたところですが、書物上での紹介に終わっていましたので、ここに公開させていただくこととしました。それら既知の史料に加え、さらに「越ヶ谷蔵物語」プロジェクトを機縁に、未調査の油長・山崎家史料も調査させていただいておりますので、中間発表ではありますが、通説「長右衛門篤利」の実像に迫ると共に、篤胤の後妻・お里勢の生涯の解明等を通じ、両者の関わりの実情把握を深めます。

主な展示品目(予定)

- 01 本居宣長像掛け軸 と 本居宣長への祝詞
- 02 平田篤胤自詠自書短歌短冊(2葉)
- 03 伊勢神宮御文庫献本受領書(外宮)&伊勢神宮御文庫献本受領書(内宮)
- 04 献本と同様本と、山崎長右衛門篤利の「古史徵」序文翻刻文と関連する
平田篤胤の書簡
- 05 平田篤胤の山崎長右衛門からの借金証書(1) 15両
- 06 平田門人衆から山崎長右衛門宛の6両無心書
- 07 平田篤胤の山崎長右衛門からの借金証書(2) 296両
- 08 文化15年寅正月吉日「金銀請取帳」(平嶋伊助の帳簿)
- 09 平田篤胤作の籠の菓子器
- 10 平田篤胤朱入れの篤利による写本(5冊)
- 11 山崎長右衛門死亡直前の伊奈代官所への一札
- 12 十二代目長右衛門篤利の「臍の緒」「産毛」 他二十数点を予定

<イベント案内>

記念講演会

織瀬の手紙の語るもの

－「近世の主婦」研究の成果を加えて－

日時:2020年11月28日(土)13:30～15:00

講師:横山鈴子氏

歴史研究者。専門は近世史、近世女性史、ジェンダー史。
著書に「史料集 平田篤胤後妻織瀬の秋田からの手紙」(横山鈴子翻刻・編年・著、宮地正人史料校訂、2012年)他。
歌人としても短歌同人「月虹」所属、歌集『緑色の意志』『白虹』『あかだいだいきいみどり(白虹ーそれから、)』等の著作がある。

連続ミニ講座

今回の史料調査を担当した油長史料研究同好会のメンバーから展示品の説明や研究報告をし、参加者の皆さんと意見交流をします。

- ①2020年11月23日(祝)13:30～15:00 「平田篤胤と越谷」
- ②2020年11月25日(水)13:30～15:00 「山崎長右衛門篤利伝」
- ③2020年11月29日(日)13:30～15:00 「お里勢物語」



平田篤胤像



山崎長右衛門篤利自ら
描いたとみられる似顔絵

◆記念講演会・連続ミニ講座 すべて共通で

参加費:無料

会 場:越谷市市民活動支援センター 活動室

定 員:各回30名(予約制)

申込先:電話 048-969-2750 (受付時間:午前9時～午後9時)
越谷市市民活動支援センター

※定員に達しだい締め切ります。

会場 越谷市市民活動支援センター

所在地:〒343-0816 埼玉県越谷市弥生町16番1号
越谷ツインシティBシティ5階 TEL.048-969-2750
アクセス:東武スカイツリーライン 越谷駅東口から徒歩1分
U R L:<http://koshigaya-activity-support.info>